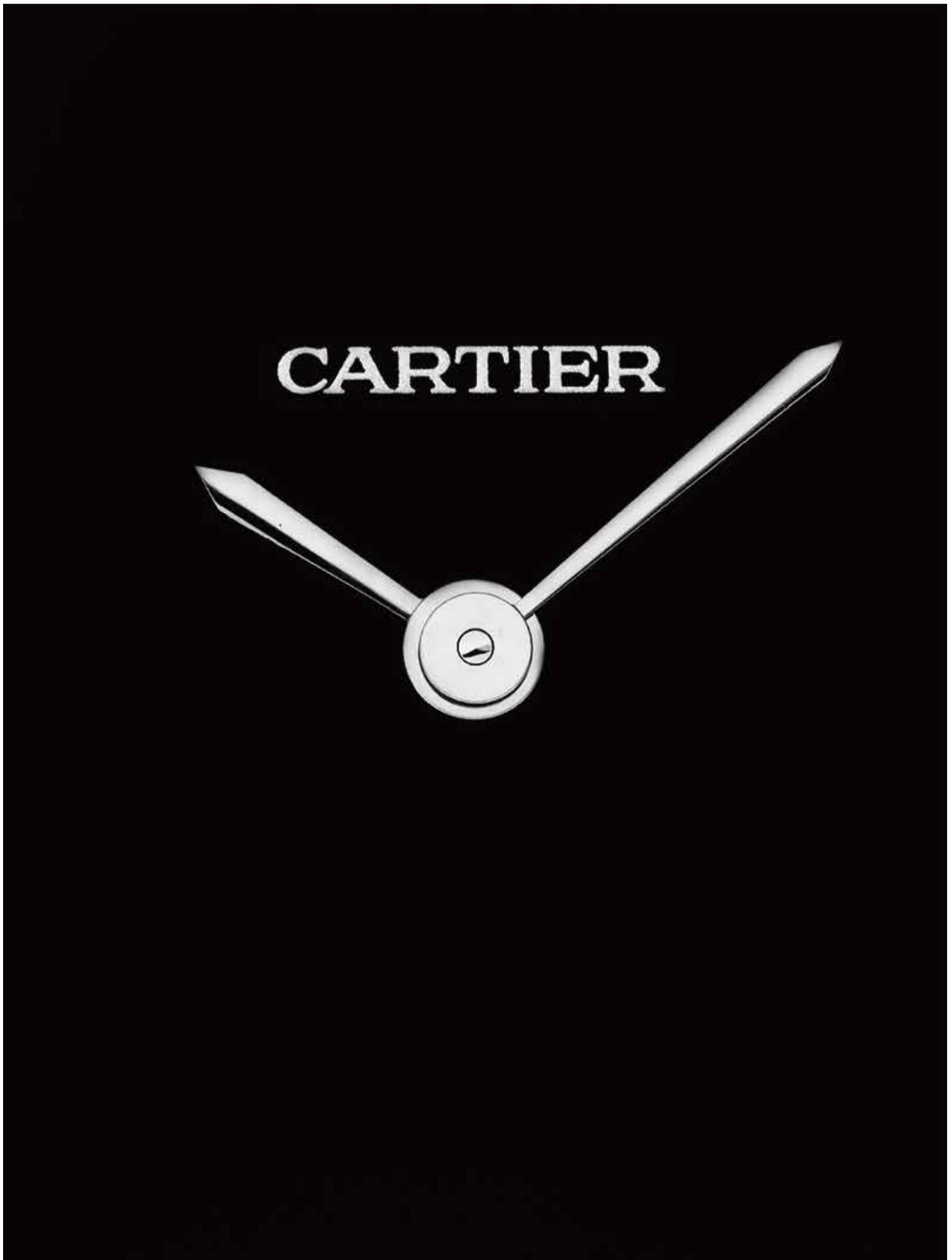


---

# Biz [ ビズスタ ] Life Style

---



Paul & Henriette © Cartier

“時”を語る、カルティエ



Paul & Henriette © Cartier

## TANK

### ジェンダーレスな魅力漂う ミニマルデザインの「タンク」

「Less is More」(少ない方が豊かである)というデザインの考え方を体現するよう、削き落とされたデザインが魅力の「タンク」。すべての色を包括するブラックカラーの文字盤には、インデックスもなく、時間束縛されず、自分らしさを謳歌するというメッセージが込められているようだ。最大の魅力はジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さでも性別を問わず似合うものだ。



© Cartier

**タンク ルイ カルティエ**  
29.5×22mm クォーツ  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,372,800円(税込)



© Cartier

**タンク ルイ カルティエ**  
33.7×25.5mm  
手巻き (Cal. 1917 MC)  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,742,400円(税込)



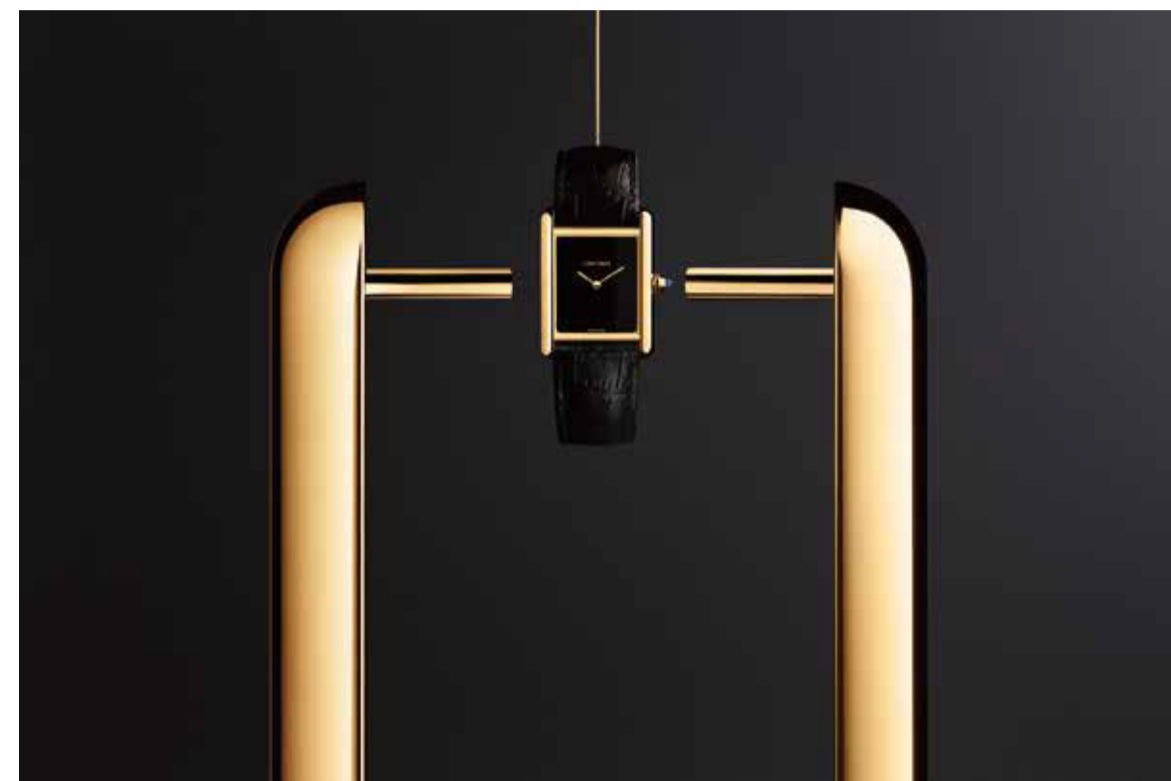
© Cartier

**タンク マスト**  
33.7×25.5mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
434,500円(税込)



© Cartier

**タンク マスト**  
29.5×22mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
412,500円(税込)



Paul & Henriette © Cartier

## カルティエにとって、時間とは?

単に計測する対象ではなく、自らに寄り添うもの。大切なのは、今、この瞬間、この場所。いわば、時間は、「今」を自分らしく、有意義に過ごすためにこそ使うものなのだ。その時の哲学を秘めて、カルティエは、1世紀以上をかけて、時間という千変万化であり、タイムレスで実態のないものを独自のスタイルのタイムピースへと昇華してきた。それは、絶えず可能性の限界、美的感覚の限界、アイデンティティの限界への挑戦となる。まさに、カルティエの腕時計は、メゾンの創造性と卓越した技の結実。身に着ける人を鼓舞し、人生のステップアップに寄り添うパートナーとして、これ以上ふさわしい存在はないだろう。

## Men's Watch News Flash

### ルイ・カルティエの伝説をまとう

カルティエのウォッチを語るうえで外せないのが3代目当主ルイ・カルティエだ。新時代の好きでつねにチャレンジを怠らなず、メンを世界へ発信した。たことでも知られる人物である。その大胆な生き様は、現代を生きる男性にとても刺激を与えざるを得ない。

2022年の新作でも、彼の伝説を語る3つのコレクションが進化を遂げた。特筆すべきは、いずれも魅力的な新カラーが登場した。ひしひしと、メンを代表する人気コレクション「タンク」の系譜を受け継ぐ「タンク ルイ カルティエ」。1917年に誕生して以来愛されている、2本の並行する縦枠の「タンク」ギョ

ラーケースのデザインを、1920年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォッチが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。

もうひとつ、ルイ・カルティエと所縁の深いコレクションといえは「サントス」をおいてほかならない。彼の友人であったブラジル人の大富豪で、空を飛ぶことが何よりも好きだった飛行家

アルベルト・サントス・デュモンのために飛行船を操縦する際、時刻を確認できるように生み出された「サントス」が体化した時計の存在である。1904年に世に送り出されたこの時計は、「世界初の男性用腕時計」として歴史の名を刻むことになった。今年のモデルは、精悍さと知性を兼ね備える「ブルー」の配色が新鮮だ。さらに、「マンヨフ」のカラーリングも、カルティエが得意とする「ケルトン」モデルがシックなグレーやグリーンの色調で登場したのも見逃せない。

進取の気性に富んだルイ・カルティエの精神が息づく新作ウォッチたち。時代を超えて、真価を認められるためには、現代性を取り入れ、挑戦しながらも、本質を失わないことが重要であることを教えてくれる。



Matthieu Lavanchy © Cartier

## SANTOS DE CARTIER

### マニュファクチュールで進化する「サントス ドゥ カルティエ」

ビジネスシーンでは、各詞以上に持ち主のアイデンティティを物語る存在となる腕時計。「サントス」がこの世に誕生して以来、時計はもつと時間を計測する利便性が追求されてきた。しかし、現代のファッションも大きく変わっていった。その意味で、「サントス」の功績は非常に大きい。それだけ重要なコレクションは、2000年にスイスのラシャイェンに新工場を構えてから、徐々に進化を遂げ、自社生産のマンヨフ・マニファクチュールとしての姿勢を表明してきた。2009年には、自社製ムーブメントを発表し、2010年からは外装部分のケースやブレスレットも自社で手がけていく。その結果として、自分で簡単にブレスレットを交換できる「アリゲーターストラップ」を交換できる「クイックスイッチ」や、ブレスレットの長さを調節できる「スマートリンク」システムを搭載することが可能になったのだ。新作に見られる独特のブルー文字盤や、スケルトンモデルの登場も、マンヨフ・マニファクチュールならではの卓越した技があつてこそ実現できるものなのだ。



Iris Velghe © Cartier



© Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)



© Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)



Vincent Wulverryck © Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
自動巻き (Cal. 1847 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
カーフスキンストラップ各1本  
998,800円(税込)

# Ladies Watch News Flash

ハイジュエラーの矜持が息づく  
ジュエリーウォッチ



Iris Velghe © Cartier

## PANTHÈRE DE CARTIER

大胆にしなやかに生きる現代女性のアイコン  
「パンテール ドゥ カルティエ」

世界中のロイヤルファミリーや各界のセレブリティを虜にしたカルティエのクリエイション。誇り高きハイジュエラーとして、芸術的なジュエリーウォッチの数々が歴史を彩ってきたことも忘れてはならない。なかでも、1914年に初めて時計として誕生した「パンテール」のデザインは造形の美しさに止まらず、自由を愛し、時代の先をゆく女性たちの代名詞となっていた。最初に「パンテール」の異名を持ち、パリジエヌの憧れを集めたのは、男性中心の社会で、メソンのクリエイティブ・ディレクターとして活躍したジャンヌトウーサン。その後、抜群のセンスと大胆な行動で魅了したウィンザー侯爵夫人や、パリのファッションアイコンとして注目を集めたディジー・フェロウらが名を連ねる。強い眼差しに、しなやかな

な四肢、野性味あふれるスタイルは、パンテールを体現する多面的な魅力を持つ女性たちのように具体的な造形から、幾何学、抽象まで実に幅広い表現が用いられてきたことも特徴である。

2023年は、宝石のカラーを思わせるプラム、ゴールド、ナイトブルー、ブラックの4つのカラー文字盤の優美なモデルが登場した。見る角度によって、表情が異なる輝きを楽しめるのも、幾つもの顔を持つパンテールウーマンを思わせる。また、インデックスがない文字盤は、時間という概念から解放されて、自由を謳歌する女性を象徴するようだ。一方で、「パンテール ドゥ カルティエ」の魅力が、小ぶりでエレガント

なデザインなのに視認性が高いところと称賛する女性も多く、定番モデルも人気を博している。身に着ける人のライフスタイルに合ったスタイルを選べるのも、「パンテール」がどんな時代でも愛されてきた理由のひとつ。そして、何より、「パンテール ドゥ カルティエ」は、どんな女性の腕元にも似合う。それは、このタイムピースを身に着ければ、女性の中に眠る、パンテールを表す大胆さ、自分らしさ、自信、魅きつける力、優美、しなやかさのいずれかのキーワードが共鳴するからだ。腕元に「パンテール」の輝きがあれば、きつとあなたに寄り添い、豊かな時間が過ぎるように導いてくれるはずだ。



© Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススチール  
ステンレススチールプレスレット  
594,000円(税込)



© Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススチール、ダイヤモンド  
ステンレススチールプレスレット  
1,161,600円(税込)



Antoine Pivdori © Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
25×20mm クォーツ  
イエローゴールド、ダイヤモンド  
イエローゴールドプレスレット  
日本限定  
3,986,400円(税込)

掲載した商品の価格は令和5年3月8日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

### Biz Life Style Pick up >>>

時代を超えるカルティエの美を堪能できるふたつのフェア  
創業126年の歴史を誇る徳島の名店「池田時計店」で開催



ジュエリー・ウォッチブティック IKEDAプラス  
徳島市東船場町1-22 TEL.088-678-3080  
営業時間 / 11:00~20:00 無休

今月で実に創業126周年を迎えた歴史ある名店としてウォッチファンの信頼を集める池田時計店。4月7日(金)から10日(月)までの4日間は、旗艦店の「IKEDAプラス」にて毎年恒例のカルティエフェアが開催される予定だ。

さらに、4月5日(水)と6日(木)の両日はスペシャルフェアも控えている。こちらは、美しい景観が楽しめるゲストハウスに舞台を移しての貸切イベント。この日のために特別なコレクションも用意されるので、こちらも見逃さない。

カルティエ独特の世界観に包まれるラグジュアリーな空間で、その美を満喫できる2種類のフェア。詳細は店頭で。

■4/7(金)~10(月)「IKEDAプラス」In store Fair ※感染拡大防止の為、下記QRコードより来店予約をお願いします。  
■4/5(水)・6(木) Special Event ※詳細は「IKEDAプラス」スタッフまでお問い合わせください。



#### 取り扱いブランド

カルティエ、IWC、ラルフローレン、オメガ、センチュリー、タグ・ホイヤー、グランドセイコー、クレドール など

[https://ikd-grp.com/2304\\_cartierfair](https://ikd-grp.com/2304_cartierfair)

